



【寄書】

## パク チョン キュウ 君の論考に寄せて

小浜弘幸 (昭和 32 卒 河本研)

昨年 9 月の京機短信 No.238 に始まり、「韓国社会の理解と大韓民国の使命」と題して、博士課程から研究室の助教をされて、現在韓国自動車産業研究所の役職に就いておられるパクチョンキュウ君が、韓国の戦後の歴史を経糸に社会情勢を読み解く連載をしておられる。近頃は歴史認識についての議論が多く、立場によって議論の内容が様々に分かれているので、時流の言論人ではなく、自身専門職で韓国のアッパーミドルであり、教育のバックグラウンドが同じ京機(会)会員でもある人から、率直な意見が聞けるのは貴重なことである。寄稿文を拝読して湧いてきたいろんな思いを、京機短信を通じて会員の皆さんとともに議論することも意義あることと感じ一文を草した。

一読して思いは昭和 20 年代に飛んだ。戦後すぐのその頃はマルキシズム全盛の時代だった。「信仰・理性・文明」という題のイギリス人の著書(1943 年刊)を東大教授が翻訳して広く読まれた書物は、現代の社会主義思想はローマ時代のキリスト教のように、次の世を指し示す考えだと言っていた。京都大学に来られた、昭和天皇の車を時計台の前から押し返し、学生自治会の同学会が解散させられたのもこの頃であった。学生証に割り印して解散賛否の投票をしたのを覚えている。言論人の左翼傾向はその後長く続き、ようやく流れが変わったのは高度成長の成果が目に見えてきた頃だった。この時代の経験を通してイデオロギー論争は不毛なものであり、ただ虚しい気持ちだけしか残らないことを教わったと思う。

昭和 20 年代の初め、私は中学生だった。歴史上初めて経験した敗戦により日本人は潔く、まったく入れ替わったようになった。新憲法の制定発布と平行して、中学生以上の生徒一人ひとりに「民主主義 上」という教科書が配られた。大都市の印刷所が空襲で破壊されていたので、普通の教科書は手に入らず、新聞紙の大きさに印刷された紙を、各自が裁断し製本して教科書として使っていた頃であった。200 頁位の「民主主義 上」は上質の紙に清朝活字で美しく印刷され、粗悪な紙に印刷されていた他の書物とは格段の存在感を示していた。先生方には

ためらいがあったのだろう、この教科書を積極的に教えてやろうとされた方は少なかった。

それでも、平和・自由・平等のこの教科書に書かれた政治理念は、新しい憲法の理念を高らかに称える新聞・雑誌の論調とともに、日本人の広い層、特に若い世代に確実に浸透して行った。平成初年代に復刻されたこの「民主主義」文部省著作教科書を読み返すと、当時としてかなり過激な政治思想であったと推測される。その後今もなお、新憲法とともに見直して、日本人の原初フィーリングにもっと近付ける必要があるという議論が盛んに行われているのにも道理がある。しかし、民主政治の考えを底流として戦後日本の政治の流れがしっかりと作られたことは認めなければならない。

朝鮮半島の戦後政治は1945年8月15日に始まった。信託統治案が退けられて、南に李承晩大統領、北に金日成政権ができた。金政権は今に3代続く事実上の金王国となった。李承晩は終身大統領となり自己の政権の永続を願ったが、圧政を批判されて引き摺り下ろされ、再びアメリカに亡命を余儀なくされた。このような経緯をみると、これらの人達には政治は権力の奪い合いと考えられている匂いがある。これは東アジアで長く伝わった政治のあり方の一つではあるが、日本人が戦後長い間をかけて育ててきた、民主主義政治とは異なったものであることは論を俟たない。

(その2)の付記で紹介された角田房子「わが祖国」は懐かしい書物である。関妃殺害事件のあと日本の港町に身を隠した禹範善は、結局は刺客に刺されたが、日本人と結婚して、その長男が東大農学部を卒業して農林省に勤め、著名な育種学者・禹長春博士となり、退職後京都のタキイシードから、1950年韓国に大歓迎裡に帰国し、韓国の種苗品種改良に大いに貢献したこと、日本に残った娘さんが当時鹿児島大学を卒業して松風陶歯に就職し、のち京セラを興した稲盛和夫氏と結婚したことなど、他の大都市と違って戦災に会わず、戦後早期に回復して新産業の温床となった当時の京都の雰囲気を感じながら、不思議な縁の繋がりに驚いたものであった。

未だ議論がそこまで進んでいないがぜひ教えて戴きたいのは、韓国の国字問題である。かなり長い間、漢字ハングルが混じった文章が使われていたと思うが、近頃は漢字がなくなりハングルだけになった。私はハングルが判らないのでその功罪を云々するのではないが、古来韓国では中国の古典の教養が尊ばれ、ずっと昔に読んだ「オンドル夜話」という中公新書で詳しいことは覚えてはいないが、中国の古典を老儒の指導のもと若い人達が熱心に勉強するのが今も続いているということが紹介されていた。

春秋戦国時代から唐・宋時代までの中国の古典は、東アジア一帯の人間にとっては共通の文化遺産と考えられる。陶淵明の閑適の情、李杜楽天の唐詩の華麗さ・雄大さ、蘇東坡など宋詩の豊潤さ、孔孟の良識、老荘の智慧、大量の漢訳仏典などは我々の教養と情感の基底を形作るものであると考えている。日本では高校で漢文を教わる機会があり、漢文漢詩の文化を伝承している機構もあって、古典中国文化は日常的に活用されている。漢字を全廃した韓国では、このような古典中国文化がどのように扱われているのか、気になるところである。

国民のための政治という視点に立てば、朝鮮半島の政治家で高く評価されるべきは、1894年、甲午改革を実行し、500年続いた身分制度を撤廃、奴隷制度を廃止して、近代的な教育・軍隊制度を採用、ハングルを公用文字とするなど近代化の基を作った金弘集、「漢江の奇跡」を実現し韓国を富裕な国に導いた朴正熙が挙げられると思うが、不幸なことに二人とも非業の死を迎えておられる。また、明治日本の権力者の中で朝鮮半島のことを最も良く理解していたのは伊藤博文であるが、これを暗殺した結果、その後の日本政府の対応は極めて厳しいものになった、このような重大な誤りを犯した暗殺者・安重根を何故に奉るのか全く理解に苦しむところである。

李承晩大統領は若くしてキリスト教に出会い、以後の行動は信仰と深い関係があると伝えられる。そのほかリーダーとなった方々でクリスチャンの方が多く、一般の人々も人口の三分の一を超えるほどがクリスチャンと言われている。これは現在の韓国の思想と宗教の世界の特徴であり、具体的に一步踏み込んだ理解がしたい。キリスト教が朝鮮半島に入ってきたのは歴史も浅く、韓国の人たちがどのように考えてキリスト教を受容したのか、韓国の近代化を理解するための重要な鍵となると考えている。

隣国関係は微妙なもので世界的にも多様な有様を示す。筆者は若い頃ヨーロッパ駐在員として彼の地の国々のさまざまな様子を見てきた。既にある夫々の事例から直接に参考になることを引き出すのは難しい。日本と韓国はそれぞれの歴史を背負いながら付き合っただけは無い。以前から言われているように、過去を掘り起こすだけでは展望が開けず、未来を共同して築き上げようと言う視点でしか光は見えてこない。歴史を冷静に見つめ、広い世界を展望しながら、率直に話し合っただけで未来を拓きたい。京機短信が交流の場となれば幸いである。

参考文献：木村幹著 韓国現代史 2008年 中公新書

浅見雅一・安廷苑著 韓国とキリスト教 2012年 中公新書

岡本隆司著 世界のなかの日清韓関係史 2008年 講談社メチエ

内山清行著 韓国 葛藤の先進国 2013年 日経プレミアシリーズ

# 昆明滞在記

その七

1976年卒 田中 庸彦

12月11日(木) 晴れ

こんなことがあるのだろうか！雲南大学で特別講義をしてしまった。最初は、中国語を学ばない一介の学生ですと言って固辞したのですが、このような機会はめったにないと思い直し、引き受けることにした。

事の顛末を以下に記します。

ある日、いつものように大学食堂で昼食をとっていたら、二つ、三つ先のテーブル席に座ろうとしていた中国人が、目が合った途端に私の方に近づいてきて、私と同じテーブルに座りなおした(これが最初の不思議 / 偶然)。いまだに、なぜ彼がそのような行動をとったのか分からない。話している



うちに、雲南大学ソフトウェア工学科の教授と言うことが分かり、東京大学の教授と共同研究をしているという。私はその先生を知っていた(これが第二の不思議 / 偶然)。暗号にも興味があると言うので、私はかつて暗号の勉強をしていて、暗号関係の本を出版したことがあると伝える(これが第三の不思議 / 偶然)。このあたりから、この先生が興奮し始めてきた。最後のとどめとなる不思議 / 偶然は、私が勤めていたコンピューター会社の研究所に見学に来たことがあるという。この間20分ほどで、特別講義の依頼を受けた。私は現在退職した身で、中国語を学ばない一介の学生ですと固辞したのですが、自分の教え子を京都大学に留学させたいので、京都大学の話をしてもらってもよいという。京都大学の名前を出すと、こちらの学生もその瞬間背筋がすっと伸びる。よく知っている。卒業生としてはうれしい限りである。東京大学の情報も欲しいというので、息子が現在東大生(理一)なので情報は得られると伝える。

本日の特別講義は、結局、専門分野の話を30分、京都大学留学の話を30分することにした。プレゼンテーション時間をすべて中国語でというのは、中国語を

勉強しに来た私にとっては理想的ですが、現実には、最初と最後の各5分は中国語で話し、間はやはり英語でしか話せない。不思議な偶然の連続は、何か崇高なもの(Something Great)に導かれている気がしないでもない、と思うのは、私が耄碌してきたからであろうか。

(おわり)

## —— 京機短信への寄稿、宜しくお願い申し上げます ——

### 【要領】

宛先は京機会の e-mail: [jimukyoku@keikikai.jp](mailto:jimukyoku@keikikai.jp) です。

原稿は、割付を考慮することなく、適当に書いてください。MSワードで書いて頂いても結構ですが、テキストファイルと図や写真を別のファイルとして送って頂く方が有り難いです。割付等、掲載用の後処理は編集者が勝手に行います。宜しくお願い致します。

## 「諫早高校出張授業」奮戦記

藤川 卓爾(S42 卒)

「京機短信」245、246号で昨年12月6日(土)、7日(日)に開催された京機会九州支部秋の行事について報告されていますが、ここでは「諫早高校出張授業」について、その準備を含めて顛末を報告します。今後の「ものづくり実習」に向けて会員の皆様からのご意見やアドバイスをお願いします。

京機会も「いい同窓会」、「楽しい同窓会」から「尊敬される同窓会」を目指そうということになり、思いついたのが高校へのお出張授業でした。筆者は三菱重工業(株)退職後の長崎総合科学大学在勤時に文科省のSSH(Super Science High school)事業の一環として長崎県立諫早高校にお出張授業に行った経験があり、その時の生徒たちの目の輝きが印象に残っていました。テーマは最初の「火力発電」、「地熱発電」からその後は「エネルギーのはなし」に広げました。

諫早の地は現在注目されている「自然エネルギー」との関わりが大きいところです。隣の雲仙市の小浜温泉では平成25年4月から温泉熱を利用したバイナリー発電が行われています。また、平成21年から温泉熱を利用したバイオディーゼル燃料の製造が行われています。さらに、諫早市北部では平成16年からバイオマスをガス化し、さらにメタノールを合成する農林バイオマス3号機が運転されています。

諫早高校は県内有数の進学校で、かつ男女とも高校駅伝の強豪校という文武両道の学校です。女子は過去2回優勝、昨年12月21日(日)の大会では男子14位、女子20位と県立高校としては見事な成績を挙げました。



「出張授業」の内容として、筆者の「エネルギーのはなし」と(株)神戸製鋼所の松村 昌義氏(S54)の「温泉バイナリー発電装置」の二つの講演を提案したところ、先方から「ものづくり実習」、それも「リアモーターカー」の製作の希望がありました。筆者は大

学在勤時にエコイベントで小学生の子供たちに紙製の「ミニ風車」を作らせていましたが、これだけでは高校生には物足りないので、アルミニウム製の「ミニ風車」を圧力鍋の蒸気で回して「火力発電」のシミュレーションを追加することを考えました。「リニアモーターカー」は筆者にとって全く未知の領域でしたが、挑戦しました。



### <火力発電>

筆者は中学生の頃に缶ビールの缶をボイラにしてレシプロの蒸気エンジンでマブチモーターを回して発電した記憶があり、その再現を目指しました。マブチモーターをマブチモーターで回すと豆電球が付きます。ところが「ミニ風車」をヘアードライヤーの風で回すだけでは回転数が不足して豆電球が灯りませんでした。そこで、回転子半径が大きく磁力も強いより大きなマブチモーターで試しましたがやはりだめでした。子供の頃に買った増速機(当時は減速機として使用したものを逆用)を使って発電機の増速を試みましたがこれもだめでした。再び直結発電機に戻ってヘアードライヤーだけではなく掃除機の排気を利用して「ミニ風車」を回したら0.88Vで豆電球が微かに点灯しました。さらに、発電機の電圧を高めるためにコアレス発電機を作りました(ネオジウム磁石使用、コイル0.4φ×15m、6個直列)。無負荷電圧は2.4Vと高くなったのですが、豆電球をつけると0.4Vまで下がってしまいました。今後のコアレス発電機には、より太いエナメル線を使用するなどの対策が必要と思われます。

諫早高校での本番では圧力鍋の蒸気だけでは足りずに生徒が探してきたブローアーで加勢するなど何人かの京機会員が総がかりで苦心の末、マブチモーター直結の発電機で超低電圧LEDランプを点灯することが出来ました。しかし、その直後に「ミニ風車」の翼が飛散してしまいました。タービン屋として誠にお恥ずかし



いことです。プロテクションのためにアクリル板を準備していましたが、翼飛散時には偶々外していました。風車発電機の枠の支柱がプロテクターの役割を果たしたので飛散した翼は近くに留まりました。本件は今後「敗者復活戦」に挑戦します。

### <リニアモーターカー>

本来のリニアモーターカーは磁気浮上ですが、磁気浮上は位置の制御がとても難しいので今回は初めから諦めました。最初にコロを用いて車両を動かすことを試みましたが、磁力による推進力に匹敵するくらいの推進抵抗がありました。そこで推進抵抗を減ずるために空気浮上を試みました。ヘアードラヤーの風で空(から)の車両は浮上しましたが、永久磁石を載せた重い車両は浮上しませんでした。軌道の空気噴出孔を大きくして掃除機の排気を利用すれば磁石を載せた車両でも浮上すると思いますが、今回は時間切れになりました。

走行抵抗がない手軽な支持方法として、車両を天井から糸で吊り下げるという方法を考えました。諫早高校での本番では電磁石を作るために生徒たちがボルトにエネメル線を巻くのに時間がかかってしまい、完成に至りませんでした。予め製作しておいたリニアモーターカーのモデルを使ってリニア走行のデモンストレーションをすることが出来ました。



「ミニ風車発電機」マブチモーター直結型

コアレス型

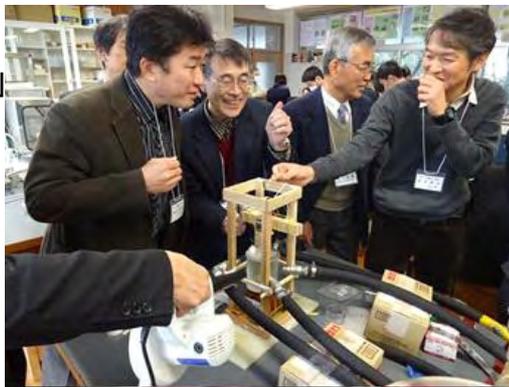
### <ミニ風車>

これは小学生を対象に今までに何回も実績があるので、多くの生徒が時間内に完成することが出来ました。

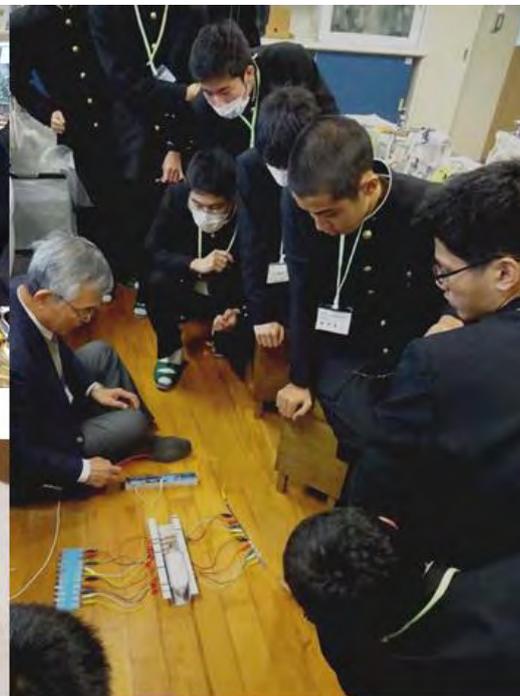
### <コイルモーター>

これは筆者が考案したものではありませんが、モーターの原理を学ぶのに最適のモデルです。何人かの生徒が完成させました。

今回の実習で生徒たちは「ものづくり」の楽しさとともに難しさや何事も簡単には行かず、何回もの失敗を乗り越えて初めて完成するというのを感じたのではないかと思います。

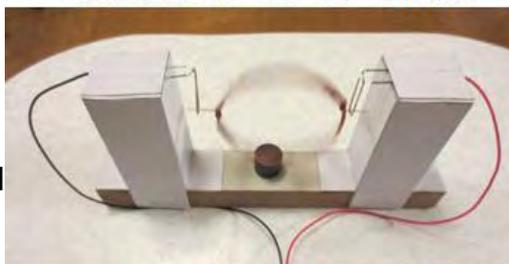


「火力発電」LEDランプ点灯



「リニアモーターカー」

午後からの見学会は30名の生徒が参加しました。小浜温泉に到着後、一般社団法人 小浜温泉エネルギー



「コイルモーター」

のプレゼンを受けました。小浜温泉での温泉発電の特徴は産官学の連携の元、地域主導で開発が進められたことです。草津温泉と並んで日本有数の100℃超の高温温泉を湧出する小浜温泉は浴用温度まで冷却するのに苦労していました。水道水を混ぜると成分が薄まるので時間をかけて自然放冷するしかなかったのです。バイナリー発電はこの高温から浴用温度までの熱エネルギーを有効に回収するのに最適で、新たに井戸を掘る必要がないことが従来地熱発電に反対していた温泉業者に受け入れられた最大の要因でした。

その後、「温泉バイオディーゼル燃料製造装置」の見学をしました。バイオディーゼル燃料は使用済てんぷら油とメタノールを反応させて製造されますが、吸熱反応なので外部から加熱する必要があります。一般には電気ヒーターで加熱していますが、小浜温泉では70℃までは温泉熱水で加熱しています。これを100℃まで加熱して、さらにメタノールもバイオマスガス化から合成したメタノールを使用すればまさに100%自然エネルギー由来の「長崎型バイオディーゼル燃料」が出来ることとなります。

続いて、「温泉バイナリー発電所」の見学をしました。ここでは(株)神戸製鋼所製のマイクロバイナリー発電装置が3台設置され、最大送電端出力(合計180kW)に近い出力で運転されています。

### 長崎型バイオディーゼル燃料

BDFの3要素	一般	長崎型
使用済食用油	使用済食用油	使用済食用油
メタノール	化石燃料由来	バイオマス由来
加熱用熱源	火力発電の電力(化石燃料由来)	温泉熱
評価	一部は化石燃料由来	100%自然エネルギー由来

た。大容量火力発電所に慣れている筆者にとってとても静かなのが印象的でした。

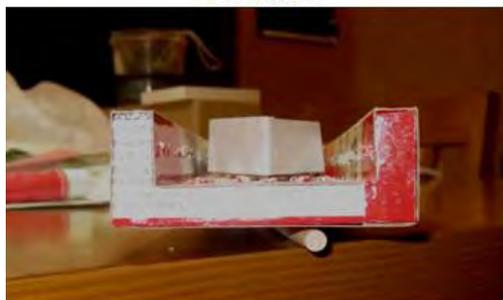
その後、諫早高校から九州支部の千々木支部長のところに校長先生のお礼状と28名の生徒の感想文が送られてきました。今後の「出張授業」に反映させたいと思います。



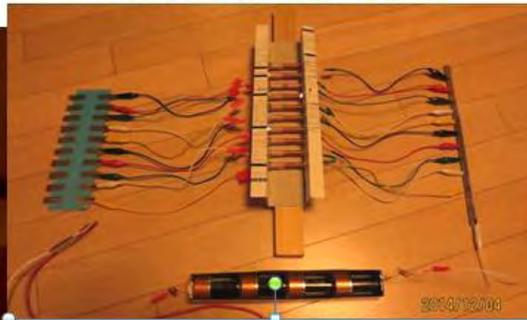
コロ支持



天井から糸で吊り下げ



空気浮上



軌道の電磁石

(おわり)

# 蒸気タービンの歴史（その22）

## The History of Steam Turbine

藤川 卓爾（昭和42年卒）

転載元：火力原子力発電技術協会，  
「火力原子力発電」，Vol. 61, No. 9, pp. 36-61, (2010-9)

### 11. 低圧最終翼の開発<sup>(24), (29)</sup>

蒸気タービンの容量および性能は1950年代から飛躍的に向上してきたが、これらは低圧最終翼の長大化に負うところが大きい。タービンの大容量化に伴い、最終翼を通過する蒸気流量は膨大となるので、大きな環状面積を得るために、より長い最終翼が必要になる。

また、タービンの出力の数%を最終段で発生するので、最終段の性能がタービン性能を大きく左右する。最終翼は長大化するほど周速度、蒸気流速、遠心応力が増大し、固有振動数が低下するので、流体、強度、振動などの面から高度の技術を要する。このため、最終翼の開発はタービンメーカーの重要な課題であり、各社とも競って開発を行なってきた。

最終翼の開発には3次元流れ解析技術、遷音速、超音速流れ解析技術、湿り蒸気流れ解析技術を適用し、性能的に望ましい翼型設計を実施し、これをもとにして、製造技術、耐エロージョン性、フラッター特性、振動特性、応力解析、材料の検討、翼列性能解析等の諸検討ならびに各種要素試験が行なわれ、翼型設計にフィードバックされる。このようにして設計された翼は最終的にモデルまたは実物翼による試験用タービンを用いた実負荷試験と実物翼による回転振動試験により総合的信頼性が検証される。先に述べた1908年完成の国産第1号蒸気タービンの最終翼はわずか4インチであった。1956年に輸入された九州電力苅田1号75MW再熱タービンには20インチの最終翼が使用されていた。

その後の開発により2010年現在、3,000rpmでは45～48インチ、3,600rpmでは40～42インチ、1,500rpmでは52～72インチ、1,800rpmでは52～56インチのステンレス鋼製の翼を使用したタービンが運転されている。写真37に3,000rpm 48インチ翼を示す(48)。



写真37 3,000rpm 48インチ翼

[提供] 三菱重工業(株)

チタンは比重が鋼の約60%と軽いため、翼の長大化に伴う遠心力の増大を軽減できるメリットがあるので、これを生かして1980年代の終りにチタン合金製の翼の開発が行なわれた。中部電力(株)とメーカー3社の共同研究で3,600rpm、チタン合金製40インチ翼が開発され、各メーカーが納入した碧南発電所1～3号700MWタービンに適用された。各タービンは1991年から順次運転され良好な運転実績を示している(49)。その後、各メーカーでさらに長いチタン合金翼が開発され、現在では3,600rpmで45～47インチ翼を使用したタービンが運転されている。欧州のメーカーでは3,000rpm向けに54～56インチチタン翼を開発中である。(2013年現在では開発済み。3,600rpmの50インチチタン翼も開発済み。)チタン合金翼は、材料費、加工費とも高くなるため、コスト低減を図ってステンレス鋼製の翼についてもさらなる長翼化が進められている(50)。(2013年現在では3,600rpmの50インチステンレス鋼製翼が運転中。)

従来低圧最終翼は単独翼構造のものと数枚の翼をスタブの溶接によってグループ化する構造のものがあった。後者については、最近ではISB構造にしてタービン停止時は隣り合うシュラウドやスタブの間は隙間があるが、高速回転時は遠心力による翼の振り戻りによって、隙間がなくなり全集綴り構造となるものが採用されることが多い。写真38に従来型の最終翼と新型ISB最終翼を示す。

#### <参考文献>

- (48) 山本ほか：3,000rpm 48インチ低圧タービン翼の開発，三菱重工技報，Vol. 35, No. 1. pp. 6-9. (1998-1)
- (49) 角家 義樹：最近の発電事業に対応した蒸気タービン技術の動向と課題，火力原子力発電，Vol. 49, No. 6, pp. 706-715. (1998-6)
- (50) 大山 宏治，田中 良典：蒸気タービン高効率化技術の最新動向，日本ガスタービン学会誌，Vol. 38, No. 4, pp. 18-23. (2010-7)



写真38 新型ISBと従来型翼

[提供] 三菱重工業(株)

(つづく)

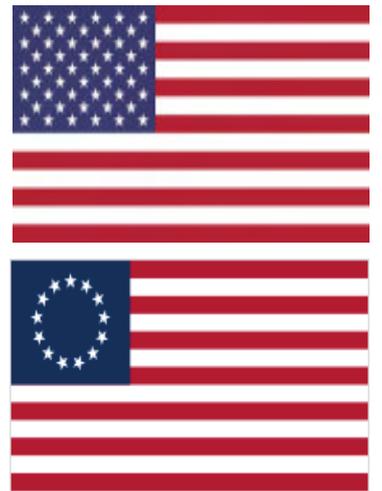
昭和55年卒 奥田 寛

最近自動車のリアウインドに小さな日の丸を掲げてみました。これをすると右翼の自動車と勘違いされて、いたずらされにくくなるそうです。しかし、少し小さすぎたようで、気の弱い右翼にしか見えません。



最近祝日に日の丸を掲げる家がめっぼう少なくなりました。私自身家に日の丸があるかどうかも知りません。私が勤務する大阪の難

波あたりでは、イタリア料理店にはイタリア国旗が、フランス料理店にはトリコロールのフランス国旗が掲げられていますが、日本料理店に日の丸が掲げられているのを見たことがありません。確かに日本でわざわざ日本料理店に国旗を掲げるのもいかなものかとは思いますが、国旗に対して敬意をもっているといえる人がどれだけいるのでしょうか。



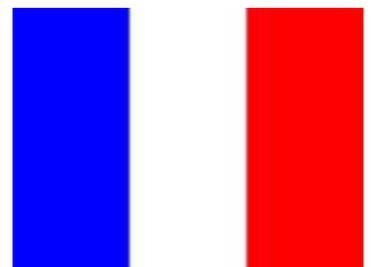
では国旗について豆知識を、

- ・アメリカ国旗（星条旗）

星の数は現在の州の数（50）で、赤い縞の数は1774年に独立した時の州の数（13）です。ちなみに独立当時の国旗は下の様でした。

- ・フランス国旗（トリコロール）

自由、博愛、平等を表すという通説がありますが、実際は白がフランス王国の色で、青と赤はパリ市の紋章の色だそうです。



- ・イタリア国旗

緑は「美しい国土」、白は「雪、平和、正義」、赤は「愛国者の血、熱血」を表しています。

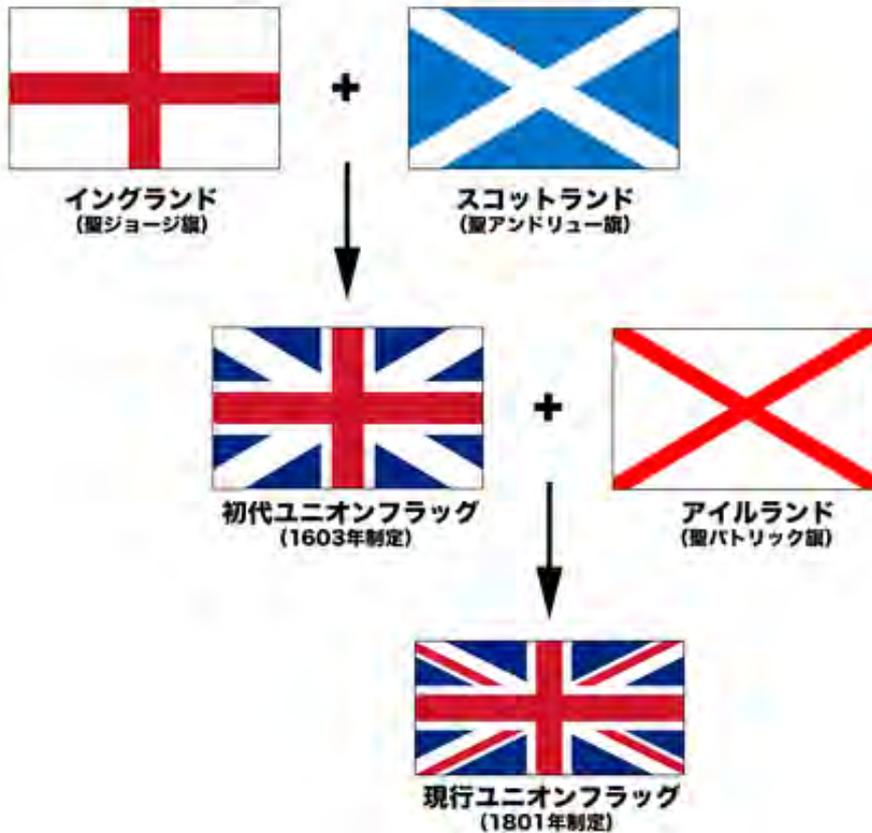


・ドイツ国旗

黒は「勤勉」、赤は「情熱」、黄は「名誉」を表しています。



・イギリス国旗



「イングランド」、「スコットランド」、「アイルランド」の国旗を合わせたものです。別名ユニオンフラッグといいます。

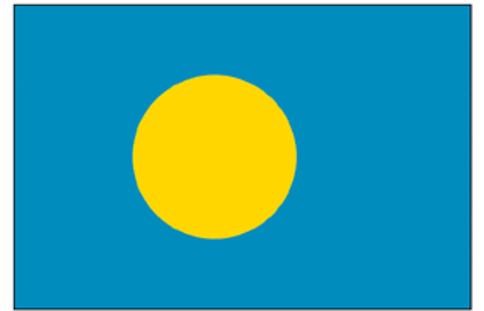
では、改めて「日の丸」の起源について簡単に解説します。

歴史の教科書に出ていたと思いますが、聖徳太子が隋の皇帝に出した書簡に「日出国（ひいずるくに）」と自国を称しています。「日本」「日の丸」はこのころが起源ではといわれています。

実際に「日の丸」が使用されている記録は、鎖国前の時代の勘合貿易や朱印船貿易の際に日本船籍を表すために掲げられたとあります。幕末には幕府使節団が日の丸を掲げた咸臨丸でアメリカにわたり、日の丸と星条旗が掲げられたブロードウェイをパレードした記録があります。日の丸が国旗として初めて国外で掲げられたとされています。このように歴史のある「日の丸」ですが、正式に法律で規定されたのは1991年（平成11年）「国旗国歌法」です。正式な呼称は「日章旗」です。そもそも法律に規定するまでもないというのがこれまでの位置づけで

あったのであろうと推察されます。

皆さんは「パラオ」という国をご存知ですか？  
1994年に独立した南太平洋の小さな国です。その国の国旗が日の丸とそっくりの色違いです。黄色い円は月を表し、明るい青は広大な太平洋を表しているそうです。



パラオはもともとドイツの植民地で、第一次世界大戦後日本が委任統治するようになりました。日本は台湾などと同様に本国に準じた学校、病院、道路などのインフラ整備を行い、日本語教育も行い、軍事施設も備えた南太平洋の要所になりました。

大太平洋戦争がはじまり、戦争末期日本軍が劣勢に立たされ、いよいよアメリカ軍の上陸が近づいたときに、日本軍と一緒に戦うと志願した現地人も含めすべてのパラオの人たちを強制的に安全な島に移送し、その後日本軍は玉砕したにもかかわらずパラオ人には一人の犠牲者も出なかったそうです。島に戻ったパラオの人たちは、自分たちが助けてもらったことを知り、ほったらかしになっていた兵士の遺体を丁寧に埋葬したそうです。戦後はアメリカの信託統治になりましたが、日本時代の思いが強く、現在でも多くの人が日本名をつけているそうです。そんなパラオが1994年に独立するとき、国旗を一般公募した結果、日の丸に似たデザインに決まったそうです。現在も台湾と同じで、非常に親日の国だそうです。この話をご存じの方は少ないかと思います。ぜひとも覚えておきましょう。

今回は「プチ右翼」というタイトルで国旗の話をしてみました。  
最後に一言「私は右翼ではありません！」・・・

**1 . 平成 27 年度経済産業省予算案の概要**

2015.1.14 大臣官房会計課

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/index.html](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/index.html)

2015年1月14日、平成27年度当初予算案が閣議決定されましたので、当省関連予算案の概要を公表いたします。

平成27年度 経済産業省関係予算案のポイント

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/keisanshoyosan1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/keisanshoyosan1.pdf)

平成27年度 経済産業省関係予算案の概要

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/keisanshoyosan2.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/keisanshoyosan2.pdf)

平成27年度 資源・エネルギー関係予算案のポイント

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/energy1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/energy1.pdf)

平成27年度 資源・エネルギー関係予算案の概要

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/energy2.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/energy2.pdf)

平成27年度 中小企業関係予算案のポイント

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/chushokigyo1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/chushokigyo1.pdf)

平成27年度 中小企業関係予算案の概要

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/chushokigyo2.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/chushokigyo2.pdf)

中小企業・小規模事業者対策のポイント

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/chushokigyo3.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/chushokigyo3.pdf)

平成27年度 知的財産関係予算案のポイント

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/citeki1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/citeki1.pdf)

平成27年度 知的財産政策関係予算案の概要

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/citeki1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/citeki1.pdf)

平成27年度 産業技術関係予算案の概要

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/sangi1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/sangi1.pdf)

平成27年度 貿易再保険特別会計予算案の概要

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/boueki1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/boueki1.pdf)

平成27年度 機構・定員要求について

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/kikou1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/kikou1.pdf)

平成27年度 経済産業省関係財政投融资計画の概要

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/zaitou.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/zaitou.pdf)

平成27年度 経済産業省関係税制改正のポイント

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/zeisei1.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/zeisei1.pdf)

平成27年度 経済産業省関係税制改正について

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pdf/zeisei2.pdf](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pdf/zeisei2.pdf)

## 平成 27 年度経済産業省予算案関連事業の PR 資料一覧

### 一般会計

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pr/index.html#ippan](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pr/index.html#ippan)

### エネルギー対策特別会計

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pr/index.html#energy](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pr/index.html#energy)

### 特許特別会計

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pr/index.html#tokkyo](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pr/index.html#tokkyo)

### 東日本大震災復興特別会計

[http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan\\_fy2015/pr/index.html#hukkyu](http://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2015/pr/index.html#hukkyu)

## 2 . 平成 27 年度予算政府案

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/index.htm](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/index.htm)

### 平成 27 年度予算のポイント

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/01.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/01.pdf)

### 平成 27 年度予算フレーム

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/02.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/02.pdf)

### 平成 27 年度一般会計歳入歳出概算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/03.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/03.pdf)

### 我が国の財政事情

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/04.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/04.pdf)

### 各予算のポイント

#### 内閣・復興・外務・経済協力関係予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-01.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-01.pdf)

#### / 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-02.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-02.pdf)

#### 司法・警察、経済産業、環境係予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-03.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-03.pdf)

#### / 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-04.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-04.pdf)

#### 総務・地方財政、財務係関係予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-05.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-05.pdf)

#### / 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-06.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-06.pdf)

#### 文教・科学技術予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-07.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-07.pdf)

#### / 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-08.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-08.pdf)

## 社会保障関係予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-09.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-09.pdf)  
/ 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-10.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-10.pdf)  
農林水産関係予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-11.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-11.pdf)  
/ 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-12.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-12.pdf)  
国土交通省・公共事業関係予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-13.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-13.pdf)  
/ 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-14.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-14.pdf)  
防衛関係予算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-15.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-15.pdf)  
/ 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-16.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-16.pdf)  
公務員人件費

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-17.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-17.pdf)  
/ 概要

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-18.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/05-18.pdf)  
(参考) 平成27年度租税及び印紙収入概算

[http://www.mof.go.jp/budget/budger\\_workflow/budget/fy2015/seifuan27/06.pdf](http://www.mof.go.jp/budget/budger_workflow/budget/fy2015/seifuan27/06.pdf)

### 3 . 平成27年度総務省所管予算(案)の概要 H27.1.14 総務省

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01kanbo04\\_201501141030.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kanbo04_201501141030.html)

公表資料はこちら [http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000331930.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000331930.pdf)

### 4 . 平成27年度財務省所管予算概算が決まりました H27.1.14 財務省

[http://www.mof.go.jp/about\\_mof/mof\\_budget/budget/fy2015/20150114.html](http://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/budget/fy2015/20150114.html)

財務省所管一般会計の平成27年度予算概算の総額は、25兆6,572億円であり、対前年度比638億円の増加となっています。

国債費(債務償還費、利子及割引料等)は、23兆4,507億円であり、対前年度比1,805億円の増加となっています。

平成27年度一般会計予算概算の概要、国債費の内訳は、以下のとおりです。

平成27年度 財務省所管特別会計予算概算の概要

予算概算の概要

[http://www.mof.go.jp/about\\_mof/mof\\_budget/budget/fy2015/2015tokkai\\_gaiyou.pdf](http://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/budget/fy2015/2015tokkai_gaiyou.pdf)

## 参考資料

[http://www.mof.go.jp/about\\_mof/mof\\_budget/budget/fy2015/2015tokkai\\_sankou.pdf](http://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/budget/fy2015/2015tokkai_sankou.pdf)

平成 27 年度の財務省の定員査定について

[http://www.mof.go.jp/about\\_mof/mof\\_budget/budget/fy2015/27teiin-kekka.html](http://www.mof.go.jp/about_mof/mof_budget/budget/fy2015/27teiin-kekka.html)

## 5 . 平成 27 年度文部科学省関係予算

文部科学省

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/yosan/h27/1351663.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/yosan/h27/1351663.htm)

予算（案）（予算総論）

平成 27 年度文部科学関係予算（案）のポイント

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480\\_1.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480_1.pdf)

平成 27 年度文部科学関係予算（案）主要事項

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480\\_2.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480_2.pdf)

地方創生に向けた主な文部科学省関係予算について

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480\\_3.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480_3.pdf)

平成 27 年度文部科学省機構・定員について（主要事項）

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480\\_04.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480_04.pdf)

スポーツ庁の組織構成と主な業務について

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480\\_05.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480_05.pdf)

平成 27 年度文部科学省税制改正事項

[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/other/\\_\\_icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480\\_6.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/other/__icsFiles/afieldfile/2015/01/14/1354480_6.pdf)

## 6 . 平成 27 年度厚生労働省所管予算案関係

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/15syokanyosan/>

平成 27 年度厚生労働省予算案の主要事項

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/15syokanyosan/shuyou.html>

平成 27 年度厚生労働省予算案概要

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/15syokanyosan/dl/index-01.pdf>

平成 27 年度厚生労働省関係財政投融资資金計画案の概要

<http://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/15syokanyosan/dl/index-02.pdf>

## 7 . 平成 27 年度農林水産予算概算決定の概要について

H27.1.14 農水省

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/150114.html>

平成 27 年度農林水産予算概算決定の概要を取りまとめました。

概要

平成 27 年度予算について、本日概算決定されました。概要については、添付資料を御覧ください。資料は以下のリンク先でも御覧いただけます。

URL: <http://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>

< 添付資料 > 平成 27 年度農林水産予算概算決定の概要

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/pdf/150114-01.pdf>

## 8 . 平成 27 年度国土交通省関係予算決定概要

国土交通省

[http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01\\_hy\\_003836.html](http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_003836.html)

平成 27 年度国土交通省関係予算のポイント

<http://www.mlit.go.jp/common/001065864.pdf>

平成 27 年度予算決定概要 <http://www.mlit.go.jp/common/001065865.pdf>

### 組織別予算概要

総合政策局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065847.pdf>

国土政策局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065848.pdf>

土地・建設産業局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065849.pdf>

都市局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065850.pdf>

水管理・国土保全局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065851.pdf>

道路局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065852.pdf>

住宅局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065853.pdf>

鉄道局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065854.pdf>

自動車局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065856.pdf>

海事局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065863.pdf>

港湾局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065857.pdf>

航空局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065858.pdf>

北海道局 <http://www.mlit.go.jp/common/001065859.pdf>

官庁営繕部 <http://www.mlit.go.jp/common/001065860.pdf>

観光庁 <http://www.mlit.go.jp/common/001065861.pdf>

海上保安庁 <http://www.mlit.go.jp/common/001065862.pdf>

## 9 . 平成 27 年度環境省予算

環境省

<http://www.env.go.jp/guide/budget/index.html>

平成 27 年度環境省重点施策 [PDF 539KB](平成 27 年 1 月)

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27juten-2.pdf>

平成 27 年度環境省重点施策 (概要) [PDF 1,883KB](平成 27 年 1 月)

[http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27juten-2\\_gaiyo.pdf](http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27juten-2_gaiyo.pdf)

平成 27 年度環境省予算 (案) 主要新規事項等の概要 (平成 27 年 1 月)

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27-gaiyo-2.html>

一般会計 <http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27-ann1.pdf>

東日本大震災復興特別会計

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27-ann2.pdf>

エネルギー対策特別会計

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27-ann3.pdf>

【全文】

<http://www.env.go.jp/guide/budget/h27/h27-gaiyo-2/full.pdf>